

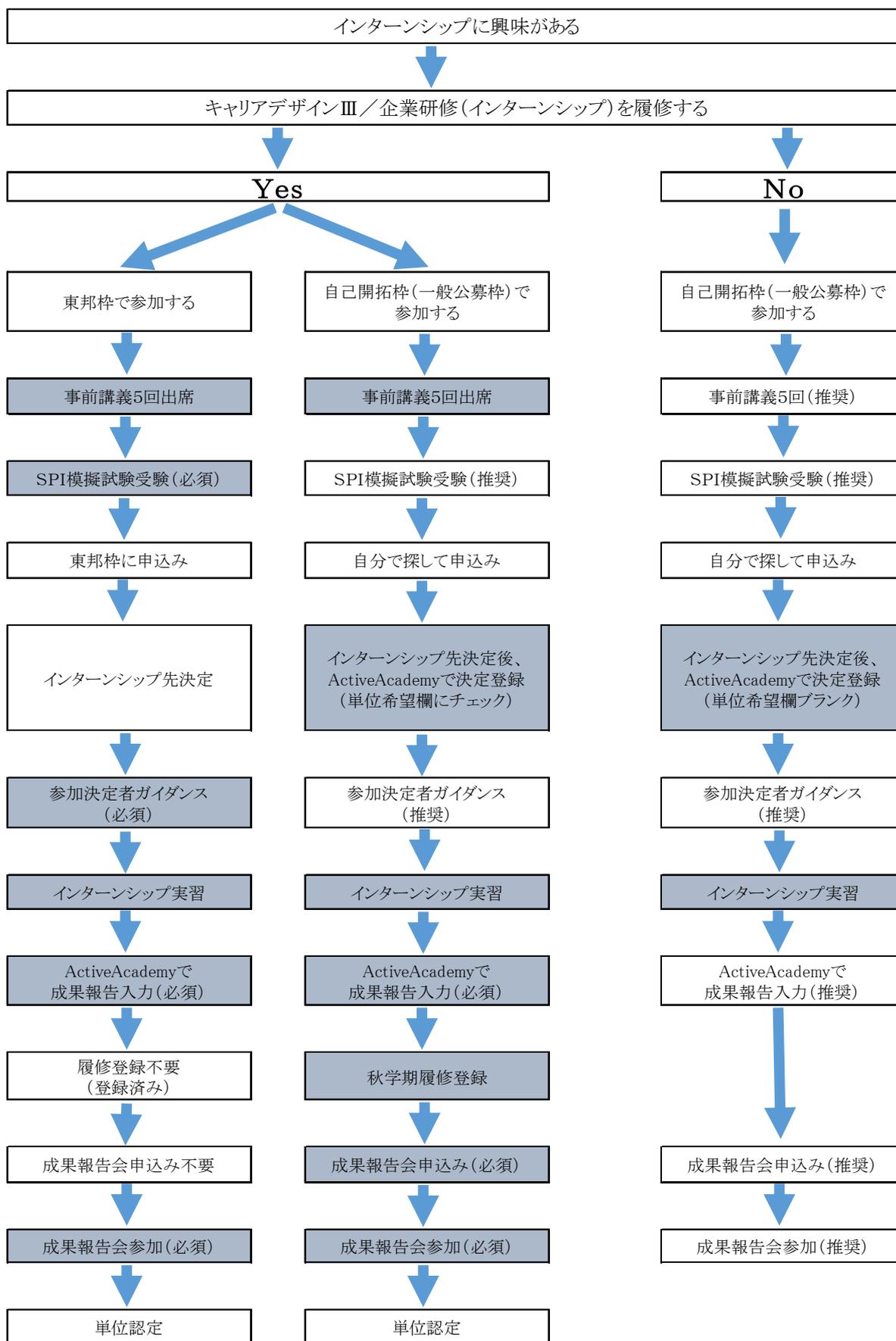
2017 年度  
インターンシップの手引

<理学部生用>

目 次

理学部インターンシップタイプ別フロー	1
2017 年度インターンシップスケジュール	2
Ⅰ. インターンシップとは	3
Ⅱ. インターンシップ参加までの流れ	4
Ⅲ. インターンシップ応募方法	5
Ⅳ. インターンシップへ参加する際の留意事項	7
Ⅴ. インターンシップ期間中の保険について	8

# 理学部 インターンシップ タイプ別フロー



※グレーは必須

## 2017年インターンシップ スケジュール

日 時	内 容	備考
5月10日(水)	理学部インターンシップ説明会 担当:渡辺博喜	4限・501 教室
5月13日(土)	講義:「業界・企業研究」 講師: 相木良介 (マイナビ副編集長)	3限・501 教室
5月17日(水)	SPI模擬試験 ※予備日:5/20am	4限・501 教室
5月20日(土)	講義:「自己分析」 講師: 勝見知恵子 (本学カウンセラー)	3限・501 教室
5月20日(土)	講義:「履歴書・エントリーシートの書き方」 講師: 井上仁喜 (本学カウンセラー)	4限・501 教室
5月27日(土)	講義:「ビジネスマナー」 講師: 渡瀬恵津子 (キャプラン株式会社)	3限・501 教室
5月27日(土)	講義:「面接対策」 講師: 町澤京子 (本学カウンセラー)	4限・501 教室
6月1日(木)	受け入れ企業・団体の公開	HP・Active Academy
6月7日(水)	受入企業・団体への参加申込み締切	Active Academy 入力
6月12日(月)	参加者決定(※応募者多数の場合SPI模擬試験の結果で選考)	Active Academy
6月16日(金)	2次募集企業・団体の公開	詳細は後日おしらせ
6月21日(水)	2次募集企業・団体への参加申込み締切	詳細は後日おしらせ
6月22日(木)	2次募集企業・団体参加者決定	詳細は後日おしらせ
6月28日(水)	参加決定者ガイダンス(インターンシップ参加者全員)	詳細は後日おしらせ
参加企業・団体 決定時	インターンシップ実施機関決定報告(自己開拓の場合)	ActiveAcademy 入力 ※東邦枠は入力不要
	誓約書 ※東邦枠の場合6月29日(木)までに提出	キャリアセンター提出
	履歴書・自己紹介書(生協購買部で購入し記入) ※東邦枠の場合6月29日(木)までに提出	キャリアセンター提出
7月～9月	インターンシップ参加(単位認定には5日以上)	各企業・団体
9月30日(土)	インターンシップ成果報告入力締切	Active Academy 入力
10月7日(土)	成果報告会(インターンシップ参加者全員)	詳細は後日おしらせ

## I. インターンシップとは

インターンシップとは「学生が一定期間企業などで研修生として働き、将来のキャリアに関連した就業体験を行える制度」です。期間は数日から数カ月まで、会社によって様々です。インターンシップが最も多く実施される時期は「大学3年生の夏」で、6月前後から参加の募集が始まります。採用活動の変更に伴い、大学3年生の冬休みやその後の春休みに実施する企業も増えています。

### インターンシップの種類

- ◆**仕事体験型** : 社員の方の監督のもと、実際の業務を経験する体験型のインターンシップです。比較的短期のプログラムが多くなっています。
- ◆**見学型** : 様々な部署、現場、施設を見学し、説明を受け、雰囲気を感じることが出来ます。
- ◆**グループワーク型** : 提示された課題に沿って、少人数でグループワークを行います。社員の方がアドバイザーとして関わり、中間報告をし、最終日にはプレゼンし、社員がフィードバックするものもあります。
- ◆**セミナー型** : 社員の方から講演や研修を受ける形式のインターンシップです。その企業の業務に関するグループワークが実施されることもあります。

### インターンシップのメリット

- (1) 職業意識の形成 (2) 責任感、自立心の向上 (3) 適職の確認
- (4) 大学での学習意欲の向上 (5) 専攻、学習分野での知識の向上
- (6) 企業、社会からの評価の確認

### インターンシップとアルバイトの違い

アルバイトの募集は「労働力が足りない」という理由で行われるのに対し、インターンシップ学生に就業体験の機会を与え、ビジネスの現場や働くことを理解させ、自分の学業生活や将来のキャリアプランに役立てて欲しいという目的で実施されています。そのため、専門知識を活かして成果を上げられる場合以外は無報酬です。(ただし、交通費や必要経費は、支給される場合もあります。)

また、研修内容も企業の仕組みや各セクションが担う業務を理解できるよう工夫されています。「仕事や企業について知りたい」という意欲を持つ学生の期待に応える制度である点がアルバイトとの大きな違いです。

### インターンシップの応募条件や選考について

インターンシップの応募条件は企業によって様々です。応募の際にしっかりと条件を確認してください。業務に関連する学科のみを募集する企業もあります。多くの企業が3年生や修士1年生を対象に募集を行います。しかし最近では大学1年生や2年生から参加できるものもあります。

また、ほとんどの企業において、インターンシップ募集時点で書類選考や面接が行われます。企業はインターンシップに様々なメリットを求めており、学生が持っている専門技術や知識を必要としているところがあれば、意欲的な学生に触発され、社内が活性化することを期待しているところもあります。よって学生へ求める要件もはっきりしており、それに見合う学生かどうかを判断するために選考を行います。

## II. インターンシップ参加までの流れ

### 1. インターンシップ説明会（全員参加）

5月10日（水） 時間：14：40～16：10 場所：理学部Ⅲ号館501教室

### 2. 講義

下記の講義は、3限(13：00～14：30)、4限（14：40～16：10）に理学部Ⅲ号館501教室でおこないます。

5月13日（土）3限 「業界・企業研究」 (講師：相木良介先生)

5月20日（土）3限 「自己分析」 (講師：勝見知恵子先生)

5月20日（土）4限 「履歴書・ESの書き方」 (講師：井上仁喜先生)

5月27日（土）3限 「ビジネスマナー」 (講師：渡瀬恵津子先生)

5月27日（土）4限 「面接対策」 (講師：町澤京子先生)

※事前講義5回出席することが単位取得および東邦枠インターンシップの応募条件になっています。出席は3限の開始前と4限の終了後に取ります。

### 3. インターンシップへの応募

応募の方法は、大学(キャリアセンター)を通して応募する「東邦枠」と、一般公募されているものに個人で応募する「自己開拓枠」の2種類です。

### 4. インターンシップ参加企業決定後の大学への手続き

インターンシップ参加企業が決定したら下記の手続きを行ってください。

「インターンシップ実施機関決定報告」(Active Academyより入力 ※東邦枠は不要)

「履歴書」提出(生協購買部で購入) ※メールアドレスは必ず大学のアドレスを記入

「誓約書」提出(キャリアセンターHPよりダウンロード)

「学研災証明書」(キャリアセンターにて申込) ※企業より提出を求められた場合

### 5. 参加者向けガイダンス（東邦枠決定者必須、自己開拓枠の方も参加推奨）

6月28日（水）時間：16：20～17：00 場所：理学部Ⅲ号館501教室

### 6. インターンシップ参加

8月5日～9月30日

**※ 単位認定のためには1日6時間以上・実質5日以上の実習期間が必要です。**

### 7. インターンシップ参加終了後の手続き

「インターンシップ成果報告」(Active Academyより入力)

インターンシップ終了後、1週間以内に入力すること

### 8. 履修登録(自己開拓枠のみ)

自己開拓枠でインターンシップに参加し、単位取得要件を満たして、単位取得を希望している方は秋学期（9月中旬～下旬）の履修登録期間に ActiveAcademy で各自履修登録をすること

※東邦枠は自動的に履修登録される（個人での履修登録は不要）

学部生 「キャリアデザインⅢ(1単位)」

大学院生 「企業研修（インターンシップ）(1単位)」

## 9. 成果報告会（全員参加）

10月7日（土）時間9：30～12：30 詳細は後日お知らせします

## 10. 教養科就職主任による単位認定

講義・成果報告会の出席状況、受入先担当者の評価書、成果報告書の内容を総合評価  
※キャリアデザインⅢの配当学年は2年です。1年生は履修できません。

### ◆単位認定基準◆

- (1) 事前講義5回出席 ※病欠や忌引き等の例外は一切認めない
- (2) 参加企業決定入力（東邦枠は不要）、誓約書、履歴書の提出
- (3) インターンシップ1日6時間以上、実質5日以上参加（自己開拓でもよい）  
※原則1社だが、2社合計5日も認める。1dayインターンシップは認めない。
- (4) インターンシップ終了後、成果報告入力
- (5) 成果報告会出席
- (6) インターンシップ受入担当者の評価（自己開拓枠でも必要）

## Ⅲ. インターンシップ応募方法

### 1. 大学(キャリアセンター)を通して申し込む（受入企業リストの利用）（東邦枠）

東邦枠に申し込む＝キャリアデザインⅢ（院生は企業研修）を履修

大学と受け入れ機関との間で協定を結び、あらかじめ参加人数や実習内容などを申し合わせて実施するプログラムです。6月に受け入れ企業リストを Active Academy にて公開します。

申し込みは Active Academy の「インターンシップ検索」ボタンから行います（申し込みの際には、第一希望のみ入力してください）。

### ◆東邦枠申込条件◆

- (1) 事前講義5回出席 ※病欠や忌引き等の例外は一切認めない
- (2) 決定後の辞退不可
- (3) 決定後の参加者向けガイダンスに出席
- (4) 誓約書・履歴書の提出
- (5) インターンシップ終了後、成果報告入力
- (6) 成果報告会出席

※応募多数の場合は、5月17日（水）（予備日5月20日 am）に実施するSPI模試の結果で選考します。

受験していないと選考の対象からはずれてしまいますので、インターンシップを希望している学生はできるだけ受験しておいてください。応募が定員を上回った場合に限り、模試結果を使用しますので、応募が定員以内であれば受験していなくても合格となることが稀にあります。

5月17日（水）に受験できない学生のために予備日を5月20日（土）amに設けました。時間・場所など詳細については、掲示やお知らせで確認してください。

※参加決定者対象のガイダンスを6月28日（水）に開催しますので必ず出席してください。

※官公庁等の一部のインターンシップは大学経由で申し込む必要があります。希望者は各団体のホームページ、掲示板等を確認の上、必要書類一式をキャリアセンターへ提出してください。

## <注意事項>

1. 臨床検査技師課程や教職課程などの学生は土曜日の授業が重なってしまうのでキャリアデザインⅢは履修できません。よって東邦枠にも申し込めません。
2. 臨床検査課程限定の検査会社等は自己開拓枠として募集しますので、事前講義を受けなくても申し込み可能です。ただし、定員を上回った応募があった場合は、東邦枠と同様にSPI模試の結果で選考するので、必ず受験をしておいてください。
3. キャリアデザインⅢの単位取得は1回のみですが、東邦枠への申し込みは複数学年で可能です。ただし、2回目については、1回目の学生の1次選抜・2次選抜後に残った企業のみを対象とします。事前講義については1回受講していれば、2回目は受講しなくてもよいです。
4. 東邦枠・自己開拓枠に関わらず、インターンシップ日程が定期試験と重複したという理由で、定期試験の日程を調整することはありません。事前に十分確認してからインターンシップに申し込むようにしてください。
5. 事前講義は受講したけれども東邦枠に行けなかった学生（2年生）が、次年度以降に再度トライする場合は、事前講義から受け直しが必要です。
6. 事前講義を受講し東邦枠でインターンシップに参加した学生（2年生）が成果報告会に出席せず単位を取得しなかった場合、次年度以降は東邦枠へは申し込めません。

## 2. 個人で申し込む(自己開拓枠)

ホームページ上等に掲載されている募集情報をもとに、学生個人でインターンシップに申し込むこともできます。受け入れ企業の検索方法としては、以下のものがあります。

### ◆インターネットによる検索

リクナビ・マイナビなどのインターンシップサイトや各企業のHP

千葉県庁インターンシップ情報

国家公務員インターンシップ情報

※この他にも、多数のインターンシップ情報サイトがあります。

詳しくはキャリアセンターHPから、トップページ>インターンシップ情報>インターンシップお役立ちサイト をご覧ください。

### ◆学外インターンシップイベント

学外の会場でインターンシップに関する情報を提供するイベントが開催されます。

詳しくは各サイトを閲覧してください。例年6月頃の開催です。

### ◆個別相談

インターンシップの探し方、履歴書・エントリーシートの書き方など、個別で相談したい場合はキャリアカウンセラーが対応します。予約の申込はActiveAcademyより行ってください。

※6月分の予約は5月25日（木）8時45分より開始。

原則、1人月2回までの申込が可能です。

## IV. インターンシップへ参加する際の留意事項

インターンシップ参加にあたっての基本的留意事項を挙げましたので、参考にして下さい。

### インターンシップ参加前

- (1) HP 等を利用し、受入れ企業・団体の概要を理解しておきましょう。
- (2) 研修日、時間帯を確認して下さい。
- (3) 事前に交通経路を確認して下さい。道順等、不安な場合は下見しておきましょう。
- (4) 受入れ企業・団体等から事前資料（施設概要や学外研修の注意事項）を渡されている場合は、よく読んで、当日必ず持参して下さい。
- (5) インターンシップと両立できないアルバイトは避けて下さい。
- (6) 直前のキャンセルは厳禁です。やむを得ない場合、企業、及びキャリアセンターに必ず連絡を入れてください。

### インターンシップ実施中

#### 1. 持ち物

- (1) インターンシップの手引
  - (2) 印鑑
  - (3) 学生証
  - (4) 健康保険証（携行できない場合は、記号番号を控えておくこと）
  - (5) 手帳、ノート、レポート用紙、筆記用具等
  - (6) 受入れ企業・団体等から指定されたもの
- （注）受入れ条件等を必ず確認し、日用品等については最小限にして下さい

#### 2. 心構え

- (1) 指定時間の15分前には集合場所に着くよう心がけましょう。
- (2) まず受付に立ち寄り「インターンシップでお世話になります、東邦大学の〇〇です」と伝えて下さい。
- (3) オリエンテーションの内容をよく聴きましょう。分からないことはそのままにせず、積極的に確認をとりましょう。
- (4) 職場での良好な関係づくりのために、挨拶や返事は積極的にしましょう。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。挨拶等によって相手の持つ印象も大きく変わりますので注意して下さい。当然、言葉づかいにも注意が必要です。
- (5) インターンシップ参加者としてふさわしい身だしなみを心がけましょう。（特に茶髪、ピアス、不精ひげ、長い爪、作業の邪魔になる髪型や装飾品、過度な化粧品や香水等に注意してください） ※インターンシップに不要な貴重品や、多額の金品等は持ち込まないで下さい。

#### 3. 注意点

- (1) 全般に関して
  - ① インターンシップは「授業の場」であることを念頭に置き行動して下さい。
  - ② 受入れ企業・団体等の方針や約束事を守り、インターンシップ指導責任者の指示に従って活動して下さい。
  - ③ インターンシップ中に知り得た個人情報、企業情報は漏らさないでください。また、研修中にメモをとる場合は、指導責任者又は担当者に可否を確認して下さい。

- ④ 当日、遅刻する場合や事故・病気等をやむを得ず欠席する場合、必ずインターンシップ指導責任者、大学(キャリアセンター TEL:047-472-7229)へ連絡して下さい。また、代替日が必要な場合は、大学に連絡し受入れ企業・団体等と調整を図って下さい。
- ⑤ インターンシップ中、携帯電話は電源を切りましょう。
- ⑥ 備品は大切に扱い、使ったものは所定の置き場に戻して下さい。
- ⑦ 行き帰りの途中、飲食や喫煙をしながら歩いたり、大声で人と話すことなどは慎んで下さい。
- ⑧ 任された仕事は責任をもって行い、終了後は指導責任者に必ず報告して下さい。
- ⑨ 特定の政治活動、宗教活動は行わないで下さい。

#### (2) 健康・衛生面について

- ① 持病や障害があり、研修上の配慮が必要な場合は事前に申し出て下さい。
- ② 研修中に具合が悪くなった場合は早めにインターンシップ指導責任者に申し出て下さい。

#### 4. 最終日について

- (1) 受入れ企業・団体等でインターンシップの成果発表会の機会がある場合は、率直な感想を述べましょう。
- (2) お世話になった職場の皆さんへインターンシップが終了する旨を伝え、謝意を述べて下さい。
- (3) インターンシップ終了後、1週間以内に御礼状(手紙またはメール)を書きましょう。

### V. インターンシップ期間中の保険について

大学を通じてインターンシップへ参加する場合には入学時に加入した下記の保険が、万一の事故の場合に適用されます。(インターンシップに参加している学生本人が傷害等を負う場合と、学生が受入企業または第三者に損害を与える場合の2通りが想定されます。)

また、企業によっては別途保険への加入が必要な場合もあります。

※みなさんがインターンシップに参加していることを大学が把握している必要があります。

東邦枠以外でインターンシップを決めた場合は、必ず**インターンシップ実施機関決定報告**をしてください。

※保険加入の証明書を企業・団体から求められた場合は、キャリアセンターに申し出てください。

#### 1. 学生教育研究災害傷害保険について

インターンシップの研修中(受入れ企業・団体等において拘束されている時間)は、現在加入している「学生教育研究災害傷害保険」の「正課中」に該当します。したがって、インターンシップの研修中の災害については、同保険約款の範囲内で保険金が支払われます。それ以外の時間における事故については補償の対象外となります。

#### 2. 賠償責任保険について

大学が教育活動の一環として位置付けるインターンシップの研修中に他人のケガや財物に関する損害賠償に対して保険金が支払われます。